

第七十四回帝國議會
衆議院

森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第一回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

委員會成立

本委員會ハ昭和十四年二月七日(火曜日)議
長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

小山邦太郎君 長野 綱良君
池田 清秋君 松尾 四郎君
松浦周太郎君 伊藤 五郎君
深澤 吉平君 北原阿智之助君

卯尾田毅太郎君

村瀬 武男君

小山田義孝君

馬岡 次郎君

篠原 義政君

松尾 孝之君

猪野毛利榮君

福井 甚三君

山川頼三郎君

久山 知之君

中田 儀直君

伊東 岩男君

北 勝太郎君

永山 忠則君

伊禮 肇君

川俣 清音君

菊地養之輔君

小田 榮君

木村 武雄君

榮君

同月八日(水曜日)午前十時三十分委員長理
事互選ノ爲委員參集ス
其ノ氏名左ノ如シ

小山邦太郎君 長野 綱良君
池田 清秋君 松尾 四郎君
松浦周太郎君 伊藤 五郎君
深澤 吉平君 卯尾田毅太郎君

小山田義孝君 篠原 義政君
松尾 孝之君 山川頼三郎君
中田 儀直君 伊東 岩男君
伊禮 肇君 川俣 清音君
菊地養之輔君 小田 榮君
〔年長者山川頼三郎君投票管理者ト爲
ル〕

○山川投票管理者 先例ニ依リマシテ私ガ
年長ノ故ヲ以テ投票管理者トナリ、是ヨリ

委員長及ビ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○松尾委員 委員長ノ互選ハ投票ヲ用ヒズ

シテ、小山邦太郎君ヲ委員長ニ御推薦致シ

タイト思ヒマス、満場ニ御諾リヲ願ヒマス

○山川投票管理者 松尾君ノ御意見ニ御異

議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○山川投票管理者 御異議ナイモノト認メ

マス、仍テ小山邦太郎君ガ委員長ニ御當選

ニナリマシタ(拍手)

〔小山邦太郎君委員長長席ニ著ク〕

○小山委員長 御挨拶ヲ申上ゲマス、只今

皆様ノ御推薦ニ依リマシテ、私ガ本委員會

ノ委員長ト相成リマシタ、萬事不行届キデ

アリマシテ、此ノ重責ヲ全ウスルコトニ對

シテハ、衷心少カラズ憂慮致シテ居ル次第
デアリマスルガ、皆様ノ御同情ニ依リマシ
テ、其ノ職責ヲ全ウ致シタイト思ヒマス、
宜シク御願致シマス(拍手)
是ヨリ理事ノ互選ヲ行ヒタイト思ヒマス

○松尾(四)委員 理事ノ互選ハ投票ノ煩ヲ

省キマシテ、其ノ數ヲ五名トシテ、委員長ニ

於テ御指名セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○小山委員長 松尾君ノ御發議ニ御異議ア

リマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○小山委員長 御異議ナシト認メマス、ソ

レデハ委員長ヨリ御指名申上ゲマス、理事

ハ其ノ數ヲ五名ト致シマス

長野 綱良君 池田 清秋君
小山田義孝君 馬岡 次郎君
北 勝太郎君

右御指名致シマス(拍手)

會議

昭和十四年二月八日(水曜日)午前十時三十

五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事池田 清秋君
理事小山田義孝君

松尾 四郎君 松浦周太郎君

伊藤 五郎君 深澤 吉平君

北原阿智之助君 卯尾田毅太郎君

篠原 義政君 松尾 孝之君

山川頼三郎君 中田 儀直君

伊東 岩男君 伊禮 肇君

川俣 清音君 菊地養之輔君

小田 榮君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林省山林局長 村上富士太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○小山委員長 引續キ會議ヲ開キマス、御

諮リ致シマス、此ノ際政府ニ對シテ参考書

ノ御請求ガアリマスルナラバ、御請求ヲ願

ヒタイト思ヒマス

○松尾(四)委員 私ハ資料ノ要求ヲ致シマ

ス、第一ニ森林保險ノ成績ヲ地方別ニ依ッ

テ御提出ヲ願ヒタイ、第二ニ森林伐採跡ノ未

植栽地推算ヲ地方別ニ御示ヲ願ヒタイ、第三ハ木材ノ需給關係ヲ、事變前ト事變後トニ分ケテ、其ノ消費ノ大別、供給地方別ヲ明ニシテ戴キタイ、是ハ勿論事變後ノモノハ推算デナケレバナラスト思ヒマスカラ、大體ハ推算ノモノデ宜シノデス、ソレカラ第四ハ山林擔保貸付ノ狀況ヲ、勸業銀行、農工銀行、普通銀行、信用組合別ニ御示ヲ願ヒマス、ソレカラ第五ハ國有林ノ官行材伐採面積、出材ノ石數並ニ金額、伐採跡ノ植林ヲ終ツタ面積、之ヲ十箇年ニ付テ調べタモノヲ戴キタイ、之ヲ要求致シマス

○深澤委員 今同僚ガ資料ヲ要求シマシタガ、其ノ外ニ重複ヲ避ケマシテ、國內ニ於ケル生産總量ト伐採量トノ比較、之ヲ最近十箇年ニ付テ御示ヲ願ヒタイ、次ハ植林スベキ總地積ニ對スル植林事業ノ年次表、並ニ植林獎勵諸法規ノ關係、是ハ件名ダケデゴザイマスガ、御示ヲ願ヒタイ、ソレカラ事變後北支、中支ニ對シテ木材ノ出タ量及ビ將來ニ對スル推定見込ヲ要求致シマス

○松浦委員 國內森林面積ノ所有別面積蓄積表、公有、民有林ノ現在施業案ノ組ンデアル面積ト其ノ輪伐期ノ表、次ハ各省國有林ノ輪伐期表、同時ニ面積別表、ソレカラ施業案未編成地ノ表、各省保案林、施業地、

同時ニソレ等ノ面積ト蓄積表、ソレカラ公民有保安林ノ面積、ソレカラ各國獨逸、瑞典、諸威、ノスカンデナビヤ等ノ輪伐期及保安林ノ狀況、同時ニ公民有林ニ對スル金融狀況、同時ニ森林組合ノ狀況、國內ノ各所有林ノ森林收入ニ對スル植林費ノ比率ト、前記各外國ノ同比率、ソレカラ各府縣經營及ビ組合營別ノ木材検査、正量検査、施行道府縣名、最近五箇年間輸入材ノ材種別石數表及金額表、輸出材種別加工品別ノ石數金額表、ソレカラ日滿支關係ニ於ケル最近ノ輸出入狀況、マア大體ソレ位デアリマス

○山川委員 資料ト致シマシテ國有林ノ年ノ古損木ノ才數ガ御調査ニナツテ居リマスカラバ、其ノ資料ヲ頂戴致シタイ

○松浦委員 一寸補足致シタイと思ヒマスガ、私一寸遅レテ參リマシタノデ前ニ要求ガアツタカモ知レマセヌガ、五百町歩以上ノ私有林所有スル町村林名、數……

○村上政府委員 名前ハ一寸……

○松浦委員 ソレデハ數、ソレカラ五百町歩以上デナシニ、五百町歩、七百町歩、或ハ千町歩ト區切シテ御願致シマス

○伊東委員 各月別ノ部分林ノ狀況調ガアルドラウト思ヒマスガ、植林年次別伐採期、面積等ニ關スル調ガアリマスレバ、ソレヲ

一ツ……

○小山委員長 尙ホ他ニ資料ノ御請求ガアリマス場合ハ、追ツテノ機會ニ御請求願フコトト致シマシテ、此ノ際農林大臣ヨリ法案ニ對スル御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○櫻內國務大臣 森林法中改正法律案及ビ林業種苗法案ノ提案理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ其ノ大要ヲ申述ベタノデアリマスガ、尙ホ補足シテ御説明申上ゲタイト存ジマス

我國内地ニ於キマスル木材需給ノ趨勢ハ、近年内地產木材ニ依存スルコト漸ク多キヲ加ヘ、隨テ内地產木材ノ増產ヲ必要ト致シテ參リマシタガ、支那事變ノ勃發ニ際會致シマシテ、益々木材ノ需要ガ急激ニ増加致シマシタ反面ニ於キマシテ、外國產木材ノ輸入ヲ極力少量ニ止ムルコトガ必要トセラレマシタ爲ニ、増大シツツアル木材ノ需要ハ、主トシテ内地產木材ヲ以テ充足セナケレバナラス情勢ニ立至リ、其ノ結果トシテ内地森林、特ニ從來比較的施業ノ放漫デアリマシタ民有林ニ付テハ、其ノ搬出ニ便利ナル地方ニ於キマシテ過伐、早伐ノ傾向ヲ愈々深刻ナラシメテ居ル次第デアリマス、民有林ニ付キマシテハ、昭和四年以來造林促進施設トシテ、毎年約三万町歩ノ無立木地造林ノ

助成ガ行ハレテ來マシタニモ拘ラズ、山村經濟ノ疲弊等ニ原因シテ、造林ノ總面積ハ連年伐採總面積ニ及バズ、過去十箇年間ニ於テ、累計約四十一万町歩ニ達スル、造林未済ノ伐採跡地ヲ生ジテ居ルデアリマスガ、斯ノ如キ植伐不均衡ノ狀態ガ繼續致シマシタ爲メ、既ニ貧弱トナツテ居リマス所ノ民有林ノ蓄積ハ、前述ノ如キ濫伐ノ傾向ニ依リ、最近頓ニ減耗シツツアルデアリマス、隨テ今後此ノ狀態ヲ放置致シマスルナラバ、内地ニ於ケル木材供給ノ源泉ガ次第ニ涸渴シ、重要資源自給方策ニ破綻ヲ來ス虞ガアリマス

ノミナラズ、治山、治水ノ基礎ヲ危クシ、爲ニ各種災害ヲ頻發セシムル誘因トナリ、延イテ銑後產業經濟ノ圓滑ナル進展及ビ國民生活ノ安定上、大ナル障害ヲ來ス虞ガアルノデアリマス、鑒ツテ我國民有林ノ現狀ヲ見マスルニ、交通ノ便ノ比較的良クナイ所ニ於キマシテハ、尙ホ老齡林分ニシテ開發ノ餘地ヲ殘スモノガ相當ニ多イデアリマシテ、是等ハ其ノ施業ニ合理的基礎ヲ缺クガ爲ニ、過熟蓄積ヲ包藏シナガラ、徒ニ之ヲ未利用ノ狀態ニ放置シテアル次第デアリマスガ、茲ニ其ノ施業ヲ合理的、集約的ナラシメル政策ヲ確立致シマスナラバ、是等老齡過熟林分ノ木材生産力ヲ活用スルコト

助成ガ行ハレテ來マシタニモ拘ラズ、山村經濟ノ疲弊等ニ原因シテ、造林ノ總面積ハ連年伐採總面積ニ及バズ、過去十箇年間ニ於テ、累計約四十一万町歩ニ達スル、造林未済ノ伐採跡地ヲ生ジテ居ルデアリマスガ、斯ノ如キ植伐不均衡ノ狀態ガ繼續致シマシタ爲メ、既ニ貧弱トナツテ居リマス所ノ民有林ノ蓄積ハ、前述ノ如キ濫伐ノ傾向ニ依リ、最近頓ニ減耗シツツアルデアリマス、隨テ今後此ノ狀態ヲ放置致シマスルナラバ、内地ニ於ケル木材供給ノ源泉ガ次第ニ涸渴シ、重要資源自給方策ニ破綻ヲ來ス虞ガアリマス

ガ出來ルノデアリマシテ、右ノ木材需給ノ趨勢ニ對應致シマシテ、内地森林ノ擔當スベキ使命ヲ全ウスルニ足ルベキ數量ヲ供給スルコトモ、決シテ不可能デハナイト認メラレルデアリマス、是ニ於キマシテ、民有林ニ於ケル施業ヲ集約化シ、其ノ生産力ノ最大ノ利用ヲ圖ル爲ニ、施業ノ基本的ナ技術ヲ民間ニ普及徹底セシメ、一面ニ於テ間伐作業ノ獎勵、老齡過熟林分ノ整理伐ノ促進等ニ依リ、出材量ノ増加ヲ誘導シ、他

テ、地方長官ノ認可ヲ受ケルコトトシ、又中小ノ森林所有者ハ、森林組合ヲ設立シテ、組合ニ於テ施業案ヲ編成シ、地方長官ノ認可ヲ受ケルコトトシテ居ルノデアリマシテ、右ニ依ル施業案ノ編成ノナイ森林ニ付キマシテハ、行政官廳ニ於テ、森林生産ノ保護ヲ圖ル爲、必要アル時ハ伐採方法其ノ他施業上必要ナル事項ノ指定ヲ爲シ得ルコトトシテ居ルノデアリマス

面ニ於テ幼齡未熟林分ノ濫伐ヲ抑制シ、以テ森林資源ノ普遍ノ活用方策ヲ講ズルト共ニ、伐採跡地ノ造林ヲ厲行シ、木材需給ノ現勢ニ即應シタル合理的植伐關係ノ確立ヲ圖リマシテ、以テ森林資源ヲ培養シ、戰時經濟下ニ於ケル各種用材資材ノ供給ヲ確保シ、且ツ將來ニ於ケル森林生産ノ保護ヲ維持スルト共ニ、治山ノ基礎ヲ堅クシテ、災害ヲ防除スルコトハ、洵ニ刻下喫緊ノ要務デアルト存ズルノデアリマス、仍テ今回森林法中第二章營林ノ監督ニ關スル規定、及

第二ニ大地積ノ森林ノ所有者、森林組合等ガ施業案其ノ他ニ定メラレタ、施業上ノ要件ニ準據セザル爲ニ、種々ノ弊害ノ生ズル虞ガアリマス場合ニハ、行政官廳ガ或ハ伐採ノ停止ヲ命ジ、或ハ其ノ者ニ代ツテ、施業上必要ナル行爲ヲ爲スコトガ出來ルコトト致シテ居ルノデアリマス

ビ第五章森林組合ニ關スル規定ヲ改正補足シテ、右ノ方策ノ實施ニ資スルコトトシテ、次第デアリマスガ、改正法律案ノ主ナル内容ト致シマシテハ、第一ニ大地積ノ森林ノ所有者ハ、其ノ森林ニ付キ施業案ヲ編成シ

第三ニ大地積ノ森林ノ所有者及ビ森林組合ニ對シテハ、治水其ノ他公益上特ニ必要アル場合ニハ、特定ノ資格ヲ有スル施業技術者ヲ置クコトヲ懇懇助成シ、以テ施業合理化ノ完璧ヲ期スルコトト致シタノデアリマス

而シテ森林組合ニ關シマシテハ、其ノ森林生産部門ニ於ケル活動ヲ促進スル爲ニ、從來ノ制度ノ下ニ認メラレテ居リマシタ造林組合、施業組合、土工組合反ビ保護組合

ノ四種ノ組合ヲ整理統合致シマシテ、一ハ共有林等ニ關シ、現ニ存立スル施業合同組合ノ充實ヲ圖リ、一ハ組合員ガ各、其ノ所有林ニ付テ行フ施業ニ關シテ、共同ノ施業案ヲ編成シ、之ニ基イテ各組合員ノ間ニ、施業ノ調整ヲ行フモノトシ、各地方ノ實情ニ即シテ、其ノ普及ヲ圖ルコトト致シテ居ルノデアリマス、尙組合員ノ出資ニ基キ、自己資金ヲ持チ得ル森林組合ニ付キマシテハ、必要ナ程度ニ於テ林產物ノ運搬、加工、保管、販賣ニ關スル施設、森林ノ維持又ハ施業ニ必要ナル資金ノ貸付、地區内森林ニ付キ地元森林所有者ノ創設、組合員ノ委託ニ依ル森林ノ施業等ノ事業ヲ行ヒ得ル能力ヲ明カニ規定シテ、其ノ機能ノ充實ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス、尙ホ此ノ機會ニ於キマシテ、現行森林法第七章罰則ニ關スル規定ハ、舊刑法ノ特別刑法トシテ規定セラレテ居リマスルノデ、之ヲ現行刑法ノ規定ニ即應スルヤウニ、改正致スコトニナツタノデアリマス

次ニ林業種苗法ニ付テ御説明申上ゲマス
造林ノ成績ハ、造林ニ使用致シマシタル種子ヤ、苗木ノ品質ノ良否ニ依存スルコトガ頗ル大デアルノミナラズ、其ノ種苗ノ良否ト云フモノハ、相當ノ年子ヲ經過シテ後

ニ至ツテ、初メテ外部ニ顯レテ來ルモノデアリマスカラ、一旦種苗ノ選擇ノ誤ツタ場合ニハ、永年ノ努力ト多額ノ經費トヲ空シク水泡ニ歸スルノ虞ガアリマスノデ、優良ナ種苗ノ使用ト云フコトハ、造林ノ實行ニ當ツテ、最モ肝要ノ事項デアリママス、隨ヒマシテ前述ノ如ク木材需給ノ實勢ニ鑑ミ、造林ノ急務デアル現下ノ時局ニ於キマシテハ、種苗ノ生産及ビ配給ニ關シ、適當ナル施設ヲ講ズルコトガ、喫緊ノ要務ト認メラレルノデアリマス、而シテ内地ノ林業經營ニ關シ最モ重要ナル樹種デ、且ツ林業經營ノ實績ヲ確保スルト云フ見地カラ見テ、最モ力ヲ致スベキモノ、即チ杉、檜、赤松、黒松、落葉松、蝦夷松及ビ椴松ノ七樹種ノ種苗ニ付キ、先ヅ本法ヲ適用スルコトト致シテ居ルノデアリマスガ、本法ニ依ツテ優良種苗ノ採取ニ適スル樹木、又ハ其ノ集團ヲ母樹又ハ母樹林トシテ保存シ、種苗ノ採取ヲ適切ナラシムルト共ニ、造林ニ當リ適地適木ノ原則ヲ具現セシムル爲ニ、特定ノ樹種ノ種苗ニ付テハ、之ニ適スル配付區域ヲ定メ、又種苗ノ販賣ヲ業トスル者ヲシテ、種苗ノ品質ヲ保證セシムル等ノ爲、必要ナル規定ヲ設ケマシテ、森林生産ノ成果ヲ確保シ、併セテ林業經營ノ基礎ノ安定ニ資

シタイト存ズル次第デアリマス

以上ガ、森林法中改正法律案及ビ林業種
苗法案ノ内容ノ大要デアリマスガ、何卒御
審議ノ上速カニ御可決アランコトヲ希望致
シマス

○小山委員長 此ノ際政府ニ申上ゲマス、
先刻各委員カラ請求セラレマシタ參考資料
ハ、出來ルダケ早ク御調製ノ上、全委員ニ
御配布アランコトヲ願ヒマス——本日ハ此
ノ程度ニ止メマシテ、次會ハ公報ヲ以テ御
知ラセヲ申上ゲマス、是ニテ散會致シマス

午前十一時散會